

当キャンペーンにより支援する活動のご紹介

開発事業 ～飢餓に直面する人々の自立支援～ — 約 4365 万円 —

Pick Up! バングラデシュでの事業例

■農業訓練センター運営／女性組織支援 — 一家計にも環境にも優しい農業を推進 —



有機農業を実践している農家を見学。センターの宿泊施設が整えば、より遠方の農家も研修に参加できるように。



WEH の週次会合。共同貯蓄を元手にした事業を充実させ、今年度は協同組合としての登録をめざすグループも。

HFW の活動地カリガンジ郡は、住民の 85%近くが農業を営んでいますが、化学肥料や農薬の使用が家計を圧迫し、健康被害、環境破壊も深刻です。そこで、HFW は農業訓練センターを運営。有機堆肥や植物性農薬の作り方、使い方の研修などを行い、環境や人体、家計にも優しい有機農業を推進しています。今年度は、より多くの農家が研修を受けられるよう宿泊施設の増築や、収入創出につながる農産物の加工設備を設置する予定です。

また、男性に比べて地位が低く見られ、貧しい生活から抜け出せない女性たちの自立のため、自助組織ウィメン・エンディング・ハンガー(WEH)の活動を支援しています。各村の WEH は、HFW 職員の助言を受けながら週1回の会合を開き、各自の抱える問題や改善策を話し合ったり、収入創出のための共同事業を始めたりしています。

※回収キャンペーンの資金は、農業センター運営や WEH 支援の費用として活用させていただきます。その他、住民の自立に必要な教育や保健衛生等の事業や、こうした支援を行うために必要な調査・評価活動、各種研修や運営費の一部にも充てさせていただきます。

Pick Up! ベナンでの事業例

■青少年・成人対象の識字教育／衛生改善 — 知識は命を守り、自立につながる —



現地語、さらにフランス語の読み書きができれば就職や商売にも役立ち、貧困を抜け出すきっかけに。



住民の家を回っての衛生指導。知識を身につけて病気を防ぎ、命を守ります。

約6割の人が字の読み書きができないベナン。HFWは活動地ベト村で、2004年度から識字教室で現地語フォン語の教育を行っています。昨年度は205名が学び、過去の卒業生の中には、教員となり教室で教える立場になった人も。さらに今年度は、以前から要望が多かった公用語であるフランス語の入門クラスを開始します。

また、住民の衛生に関する知識が乏しく、不衛生な環境で感染症などが蔓延してしまうことが以前から大きな問題でした。そこで今年度は、新たに衛生改善活動を開始します。既存の事業で住民が集まる機会などを活用し、イラスト教材やラジオを使って、手洗いやトイレ利用、台所を清潔にすることなど家庭での衛生管理の大切さを伝えていくほか、トイレや生ごみを捨てる堆肥コンポストの設置を行う予定です。

※回収キャンペーンのご支援は、識字教室の運営費や衛生啓発の教材費などに活用させていただきます。その他、住民の自立に必要な教育や収入創出、栄養改善等の事業や、こうした支援を行うために必要な調査・評価活動、各種研修や運営費の一部にも充てさせていただきます。